

庄川水系河川整備基本方針の概要

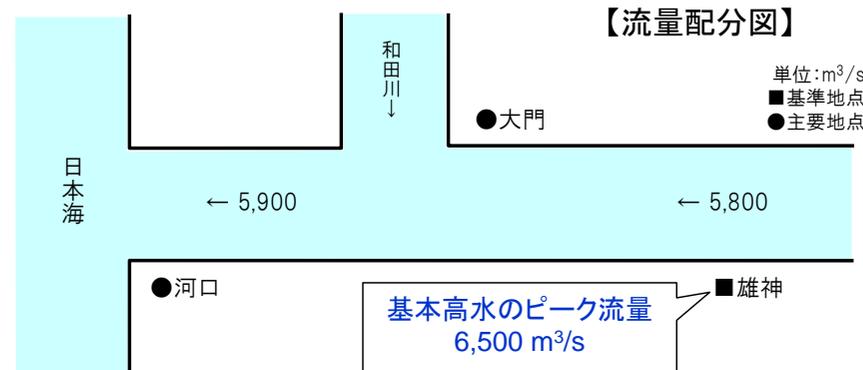
流域及び河川の概要

- 河床勾配は、上・中流部で約1/100、下流部で約1/200と我が国屈指の急流河川
- 下流域においては扇状地が形成されており、ひとたび氾濫すると拡散型の氾濫形態となり広範囲に甚大な被害がおよぶ



災害の発生の防止又は軽減

- 工事実施基本計画策定後に計画を変更するような出水は発生しておらず、流量確率(1/150相当)による検証、既往洪水からの検証等の検討結果を踏まえ、基本方針においても既定計画と同様に基本高水のピーク流量を6,500m³/s(雄神)と設定



- 基本高水流量と計画高水流量の差分については、新たな洪水調節の整備及び既存施設の有効活用により対応
- 洪水流の強大なエネルギーから被災を防ぐため堤防の安全度評価を実施し、護岸や水制等を整備
- 現存する霞堤については適切に維持保全
- 河道掘削による河積の確保にあたっては、河道の安定・維持、洪水時の河床変動等を監視・把握しながら計画的に実施

河川環境の整備と保全

- アユ等の産卵場になっている早瀬、平瀬が連続した環境やレキ床の保全
- イチモンジタナゴ、トミヨ等の生息場所になっている河道内のワンドやタマリなど湧水箇所の周辺環境の保全



河道の状況(網状区間)



河道の状況(湧水箇所)

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

- 広域的かつ合理的な水利用の促進を図るとともに、新たな補給施設を整備するなど、今後とも関係機関と連携して必要な流量を確保する
- 庄川用水合口ダム下流地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量は、概ね8.4m³/sとする